

NO. 287 『青天霹靂』 せいてんのへきれき

< 意味 > 思いかけずに起こる突発的事件・出来事、人を驚かす大変動のたとえ。晴れわたった空に、突如雷鳴がとどろく意から。

< 出典 > 陸游^{りくゆう}の詩。「青天に霹靂を飛ばす」

用 例 : この突然の禁教令は青天の霹靂の感があった。人々は驚愕した。

<海音寺潮五郎・茶道太閤記>

語 釈 : 「青天」は晴れわたった青空。「霹靂」は突然起こる雷。本来は筆勢ののびやかで動きのあることを形容した語。

一 言 : ドジャースの大谷選手の通訳を務めていた水原一平氏に関わる「違法賭博に関与した疑い」という突然のニュースは全世界を駆け巡っています。私にとっても正に驚天動地の驚きでした。大谷選手は会見を開き、自らは賭博には関与していないことを明言し、まずは安心した次第です。これからどのような全容解明がなされるのか注目していきたいと思います。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」